

別記 青年労働者は起つて

東電争議應接委員會を強力化せしめよ

東電東方の西会社は合同して奴等はお定まり産業合理化を叶ふ三千名の経営員と首に  
しゃうとたくらんでゐる。この職員と前に日頃青年が爲りに戦そくる勇敢な斗士と片づけ  
しきり追ほり出してゐるのだ。之に奮起し一万三千の後業員は三十金闇条の要求書を提出して  
會社の目前へ、立ち今やストライキの大蓋は切らしやうとしてゐる。

見ろ!! あはてふためいた會社は警察の奴を利用して先頭に立つてゐる兄弟を毎日打撲  
に奪ひ去らるゝだ。

芝の俺達青年はもう應接委員を備へたが、俺達の兄弟は左の財布とはなつて基金  
をどしく投げ出してゐる。此の不景氣に三千名の職員、之は三千名の死活問題だ、起つて、  
労働者の先頭部隊である俺達青年は俺達手で東電の兄弟を勝たせろ。

俺達が起つて東電の兄弟を勝たすことはそれは俺達青年労働者の威力を全資本家に  
示し恐怖せらることだぞ。

即時茶話會懇談會を開き應接大議しろ

青年労働者は應接委員會に参加しろ

俺達青年の手で基金の山を築げ

東電争議應接城南地委員會

別記

城北支部二二一

下尾四中八号  
市外八原第五  
1928年9月

新潟農労準備會

城北支部

地主の暴虐

二百名の水平社諸君は住みなれた土地を追はれんとす。

極悪地主鬼は大小地主とかたうて水平社の皮革業社諸君に貸してゐた三万四千坪の土地の値を上げ  
ことに狂奔してゐたが今度警視庁へ願出て此の土地を産業組合の指定地にして住民を追ひ拂ひ出  
してゐる。近々之に對して許可が下さる筈である。

今や水平社諸君は居住の自由を奪はれ職を失はざしてゐる。  
去る三月天野工場に於て乍然小負大會が開かれる。

△出願反対

△居住の保證をしろ

△失業反対!

を決議実行委員会とし當局に迫ることになつたが我が準備會文部及関東皮革文部  
豊島支部支部は極力之を應接してゐる。

東電一度立てば全市暗黒と化せん!!

争議高す我杉山杉林君勇敢に戦ふ!!

東電三千名職員は目前に迫つた一回中交渉内閣、金穴である若尾は一絶對に職員は